Vestax

MDM-410

mobile dj mixer

取 扱 説 明 書

ベスタクス株式会社
〒154-0023
東京都世田谷区若林1-18-6
電話 03-3412-7011　　ファックス 03-3412-7013

ごあいさつ

この度は、ベスタクスミキシングコントローラー MDM-410 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本機の性能を最大限に発揮するためにも、この取扱説明書をよくお読み下さるようお願いします。

目　次

ご使用上の注意 …… 2
安全上のご注意 …… 3
本機の特長 …… 4
　クイックセットアップ …… 4
　フロントパネル …… 5
　リアパネル …… 8
故障かな?と思ったら …… 9
保証、アフターサービス …… 9
主な仕様 …… 10

ご使用上の注意

電源について

●雑音を発生する装置（モーター、調光器など）や消費電力の大きい機器とは、異なるコンセントを使用して下さい。
●接続する際は、誤動作、スピーカーなどの破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってから行って下さい。

設置について

●この機器の近くにパワーアンプなどの大型のトランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えて下さい。
●テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色むらが発生したり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用して下さい。

お手入れについて

●通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取って下さい。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きして下さい。
●変色や変形の原因となるベンジン、シンナー及びアルコール類は、使用しないで下さい。
●故障の原因となりますので、市販の接点復活剤・潤滑スプレーの中でも、シリコンオイル製スプレーは使用しないで下さい。

修理について

●お客様が本機を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合がございます。
●当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、6年間保有します。この部品保有期間を修理可能な期限とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げのお店または、当社商品の取扱店にご相談下さい。
●本機の保証期間は1年ですが、クロスフェーダーやインプットフェーダーなどは、耐久性を超えた使い方（過度なスクラッチプレイでご使用になった場合等）をされると、通常のパーツの耐久期間（1年以上）が、1ヶ月に短縮されてしまうことがあります。その場合、保証内で修理に出されても、消耗部品という判断により、パーツ交換代として実費を請求させていただくことがあります。

その他の注意について

●スイッチ、ツマミ、入出力端子等に過度の力を加えると、故障の原因となりますのでご注意下さい。
●ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐ為に、プラグ自体（頭の部分）を持って行うようにして下さい。
●音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は音量に十分注意して下さい。

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいますようお願い致します。

⚠ **警告**	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

電源プラグをコンセントから抜け

● 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

分解禁止

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

指を挟まれないよう注意

△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は指をはさまれないように注意が描かれています。

⚠ 警　告

電源プラグを
コンセントから抜け

- ●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- ●万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- ●万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

水槽での使用禁止

- ●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 注　意

電源プラグを
コンセントから抜け

- ●お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

- ●オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- ●電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。
- ●5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
- ●ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

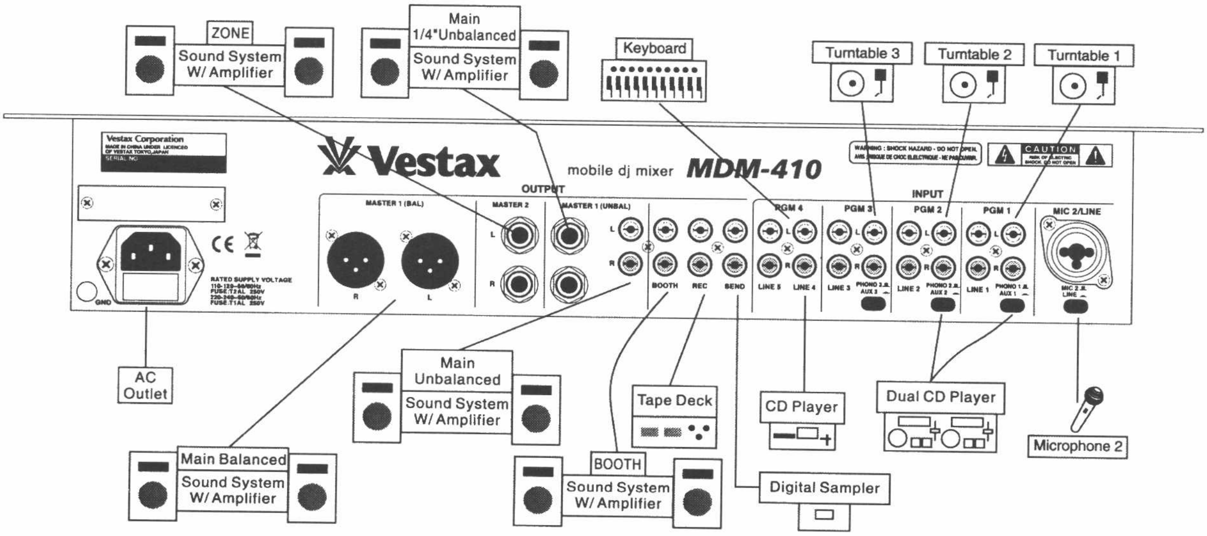
- ●調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- ●電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ●窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となるこたがあります。
- ●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- ●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

本機の特長

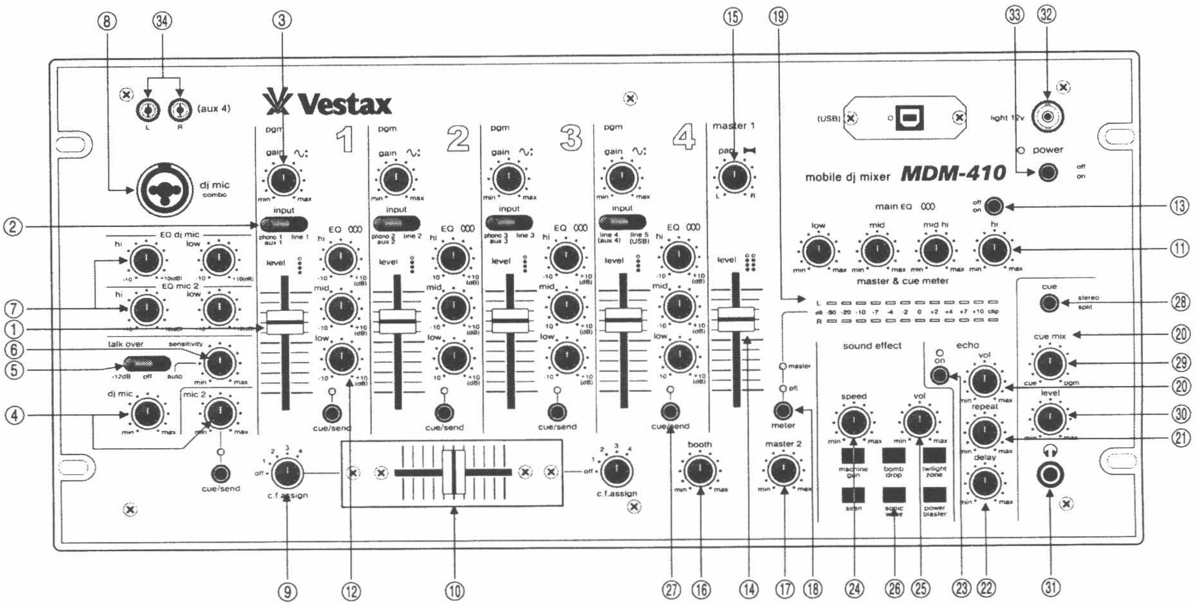
・4バンド・マスターEQ、マスター＆CUEデュアルLEDメーター
・各チャンネルに3バンドEQ（HI / MID / LOW）
・各チャンネルにCUEボタンとCUE mixを知らせる緑色LEDインジケーター
・マイク・トーク・オーバー機能(SENSITIVITYコントロール付)
・1/4インチ・ヘッドホン端子
・2バンド・マイクEQ＆ボリューム・コントロール
・クロスフェーダーPGMアサイン選択機能
・トップパネルにポータブルMP3プレーヤー等用RCA入力端子
・LINE入力×５、MIC×２、PHONO/AUX ×３入力端子
・MASTER（XLR＆1/4）、REC、BOOTH、SEND、MASTER2（1/4）出力端子
・6つの内臓サウンド・エフェクトとECHO機能
・ゲースネックランプ接続端子(BNC端子)
・ラックマウント装着可能

クイックセットアップ

本機の接続を行う前にすべてのフェーダーが“0”の位置になっていることと電源が入っていないことをご確認ください。ターンテーブル、CDプレーヤーなどのオーディオ機器を最初に接続し、次にミキサー、その次にアンプを接続してください。電源を切る場合は逆の順番で、アンプ、ミキサー、オーディオ機器の順で切ってください。



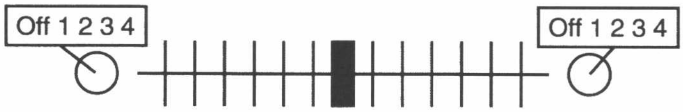
フロントパネル


Vestax
mobile dj mixer MDM-410
dj mic combo
(aux 4)
input
EQ dj mic
EQ mic 2
talk over
sensitivity
-12dB off auto
dj mic
mic 2
cue/send
c.f.assign
gain
level
hi mid low
master 1
pan
booth
master 2
meter
master pfl
main EQ
low mid mid hi hi
master & cue meter
sound effect
speed vol
machine gun
bomb drop
twilight zone
siren
sonic wave
power blaster
echo
on
vol repeat delay
cue
stereo split
cue mix
level
(USB)
light 12v
power
off on

INPUTS
1. インプット・フェーダー：各チャンネルの音量レベルを調整します
2. 入力切替スイッチ：チャンネルにアサインする入力ソースを選択します。
3. ゲイン・コントロール：チャンネルの入力レベルを調整します。

MICHROPHONE
4. マイク・ゲイン・コントロール：dj mic 及びmic 2のコンボジャックに接続されているマイクの音量を調整します。
5. マイク・トーク・オーバー・スイッチ：チャンネル1～4の入力レベルを下げマイクを聴こえやすくします。mic 2には作用しません。
6. トーク・オーバーSENSITIVITYコントロール：トーク・オーバー機能の作用するポイントを調整します。設定が高いほどマイクの感度が上がります。
7. マイクEQ：マイクのHIとLOWの周波数帯域を調整します。
8. dj mic入力（コンボジャック）：XLR又は1/4フォンジャックを接続できます。

CROSSFADER
9. クロスフェーダー・アサイン・ノブ：クロスフェーダーにアサインするPGMチャンネルを選択します。左側のノブはクロスフェーダーの左側にアサインするチャンネルを、右側のノブはクロスフェーダーの右側にアサインするチャンネルを選択します。
10. クロスフェーダー（交換可能）：各PGMチャンネルから出力される音声信号のMIXバランスを調節するフェーダーです。



上の図で左側のノブがPGM1、右側のノブがPGM4を選択された時、クロスフェーダーが中央部にある状態でPGM1に入力された信号とPGM4に入力された信号の音が同時に出力されます。
注意：クロスフェーダーが消耗してノイズが出る場合、新品のクロスフェーダーと交換してください。クロスフェーダーを留めている二つのネジをはずしてクロスフェーダーを取り出し、ケーブルを抜きます。新しいクロスフェーダーにケーブルを接続しミキサーにいれ先程はずしたネジで留めます。

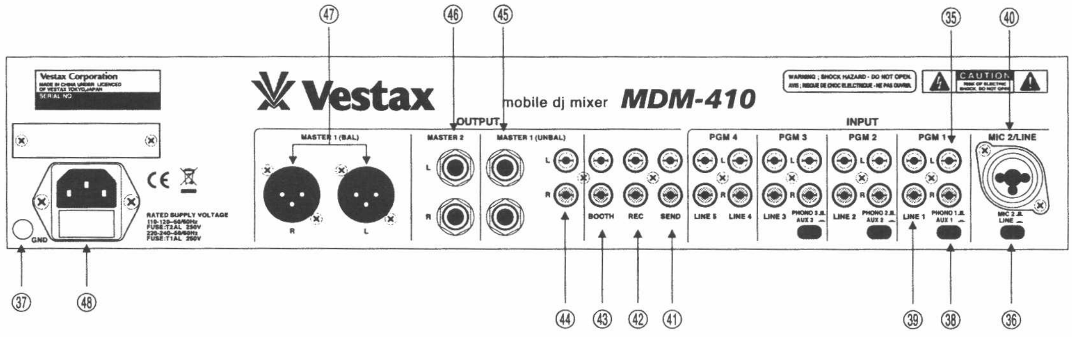
EQUALIZER
11. メインEQ（4バンド）：マスターから出力される音の音質を調節します。各帯域のセンター周波数は60Hz、700Hz、4KHz、15KHzです。
12. チャンネルEQ(3バンド）：各PGMチャンネルに入力されている音の音質を調節します。調整幅は±10dBで各帯域のセンター周波数は100Hz、1KHz、10KHzです。
13. メインEQ ON/OFFスイッチ：メインEQのON/OFFを切替えます。

OUT PUT
14. マスター1ボリューム:マスター出力端子から出力される音のレベルを調節します。
15. バランス(PAN):本機から出力される音のステレオLRバランスを調節します。
16. ブース・コントロール(booth):BOOTH出力端子から出力される音の調節を行います。
17. マスター2ボリューム:マスター2出力端子から出力される音のレベルを調節します。
18. メーター・アサイン・スイッチ:LEDメーター表示をマスター・レベルとPFLレベル(CUEチャンネルのゲイン・レベル)から選択します。
19. LEDメーター:メーター・アサイン・スイッチで選択された音声信号のレベルを表示します。赤LEDは+4dB、+7dB、+10dBとクリップを表します。+10dBに触れないくらいに各レベルを調節してください。マスター・レベル表示の場合、クロスオーバー、EQ,アンプ入力レベルを音が割れないよう調節してください。PFLレベル(CUEチャンネルのゲイン・レベル)表示の場合、ミックスを行う前に各チャンネルのレベルが同じになるようゲイン・レベルを調節してください。
20. ECHOボリューム:ECHOエフェクトの出力レベルを調節します。
21. ECHOリピート:ECHOエフェクトのリピートレベル(反複回数)を調節します。左にまわすと反復回数が減り、右にまわすと増えます。
22. DELAY:ECHOエフェクトのタイム・レベル(反復間隔)を調節します。
23. ECHOスイッチ:ECHOエフェクトのON/OFFを行います。

SOUND EFFECTS
24. SPEEDボリューム:各内蔵エフェクト音の再生スピードを調節します。
25. エフェクト・ボリューム:各内蔵エフェクト音の音量を調節します。
26. サウンド・エフェクト・ボタン:各ボタンを押すと内蔵エフェクト音が再生されます。
(1.MACHINE GUN 2.BOMB DROP 3.TWILIGHT ZONE 4. SIREN 5.SONIC WAVE
6.POWER BLASTER)

HEADPHONE CUEING
27. CUE/SENDスイッチ:PGMチャンネルのPFL信号をモニター・セクションに送るかを選択します。モニター・セクションに送られる音声信号レベルはインプット・フェーダーで調節できません。CUE/SENDスイッチで選択されたチャンネルの音声信号はリアパネルのSEND端子から出力されます。
28. CUE STEREO/SPLITボタン:ヘッドホンのモニター方式を選択します。SPLITモードではヘッドホン左側にCUEの音、右側にマスターの音が出力されます。STEREOモードではCUEとマスター音がヘッドホンの両側から出力されます。
29. CUE MIXコントロール:ヘッドホン内でのCUEの音とマスターの音のバランスを調節します。一番左にまわすとCUE音だけが出力され、一番右にまわすとマスター音だけが出力されます。
30. CUE LEVELボリューム:ヘッドホンに出力される音のレベルを調節します。
31. CUEヘッドホン端子:ヘッドホンを接続する端子です。
32. 12V BNCコネクター:12Vのグースネック・ランプを接続する端子です。ミキサーからの電源供給でランプが点灯します。
33. 電源ボタン:本機の電源のON/OFFを行います。
34. AUX4入力端子:PGM4へアサインされる入力端子です。

リヤパネル



35. PHONO入力端子:ターンテーブルの出力端子と接続します。ターンテーブルから入力された音声信号は本機の高品位RIAAフォノ・プリ・アンプを介してPGMチャンネルにアサインされます。AUX/PHONE入力切替スイッチでLINE機器を接続することもできます。
36. MIC/LINE入力切替スイッチ:コンボジャックに接続する端子に合わせ、MIC入力かLINE入力を選択します。
37. GND端子:ターンテーブルのGND端子とGNDケーブルで接続してください。
38. AUX/PHONE入力切替スイッチ:入力端子の属性を選択します。AUX選択時はLINE機器を接続できます。
39. LINE入力端子:CDプレーヤー、ポータブルMP3プレーヤー、カセットプレーヤー、DATなどのLINE機器の出力端子と接続します。(アンバランス　RCA)
40. MIC入力端子:マイクを接続する端子です。(1/4インチ・フォン・ジャックもしくはXLR)
41. SEND出力端子:CUE/SENDスイッチで選択されたチャンネルの音声信号を出力します。
42. REC出力端子:全PGMチャンネルの音声信号を出力します。各PGMチャンネルのインプット・フェーダー設定がそのまま出力レベルになります。LINE録音機器の入力に接続してください(アンバランス RCA)
43. BOOTH出力端子:マスターの音声信号が出力されます。出力レベルはブース・コントロールで調節します。
44. MASTER1出力端子(RCA-アンバランス):マスターの音声信号を出力します。出力レベルはマスター・フェーダーで調節します。
45. MASTER1出力端子(PHONE JACK):マスターの音声信号を出力します。出力レベルはマスター・フェーダーで調節します。
46. MASTER2出力端子(PHONE JACK):マスターの音声信号を出力します。出力レベルはマスター2ボリュームで調節します。
47. MASTER1出力端子(XLR-バランス):マスターの音声信号を出力します。出力レベルはマスター・フェーダーで調節します。
48. 電源端子:電源コードを接続する端子です。

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出される前にもう一度点検してください。
それでも正常に動作しないときは、お買い上げになった販売店にご相談ください。

症　状	考えられる原因	処　置
電源が入らない。	電源プラグがはずれている。	確実に電源プラグを差し込む。
電源を入れても音が出ない。	レコードプレイヤー本体の出力をアンプ／オーディオミキサーのAUX INまたはLINE INに接続していませんか。	目的のソースがどこに接続されているか確認し、INPUT SELECTスイッチの設定をやり直す。
	各機器の接続が間違っていませんか。	正しく接続する。
	MASTER LEVELヴォリュームや、各音量ヴォリューム調整がMINになっていませんか。	各音量ヴォリュームを適正な位置に調整する。
音量が小さい。	レコードプレーヤーの出力ケーブルをMDM-410本体のLINE INPUTに接続していませんか。	MDM-410本体のPHONO INPUTに接続し直す。
	レコードプレーヤーのカートリッジに、MCタイプを使用していませんか。	カートリッジをMMタイプに交換する。
音がひずむ。	MDM-410の出力を、プリメインアンプのPHONO入力に接続していませんか。	プリメインアンプのAUX等の入力に接続し直す。
	出力レベル高いCD、MDプレーヤー等を接続していませんか。	MDM-410のGAINヴォリュームを下げる。
左右の音が逆になる。	各機器の接続が左右逆になっていませんか。	正しく接続する。
演奏中にブーンという低い音(ハム音またはバス音)がはいる。	接続コードの近くに蛍光灯などの電気機具や電源コードがありませんか。	蛍光灯または他の機器の電源コードをできるだけ離してみる。
	レコードプレイーヤーのアース線がはずれていませんか。	アース線をMDM-410本体のGNDターミナルに接続する。
クロスフェーダーの動きが悪い。または、動かすとノイズが発生する。	クロスフェーダーが消耗していませんか。	新品のクロスフェーダーに交換する。

保証、アフターサービスについて

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書（別添）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保　証　期　間
お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り6年です。

この期間は通産省の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
（保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。）

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
見積りの必要な場合はあらかじめお伝えください。

便利メモ	お買い上げの日	
	お買い上げ店名	☎（　　）　－

主な仕様

		NOMINAL INPUT LEVEL	IMPEDANCE
INPUT	LINE/AUX:PGM1～4(RCA PIN/UNBALANCED dB) PHONO IN:PGM1～4(RCA PIN/UNBALANCED dB)	0dBv −47dBv	10kΩ −47kΩ
	MIC IN:(COMBO IN dB)	−55dBv(VR max,att '−12db)	10kΩ
		NOMINAL OUTPUT LEVEL	IMPEDANCE
OUTPUT	MASTER OUT	0dBV(1.0v)	220Ω
	BOOTH OUT	0dBV(1.0v)	220Ω
	REC OUT	0dBV(1.0v)	220Ω
	HEAD PHONES OUT	0.5watt into 47kΩ	
S/N RATIO	LINE	More than 90dB	
	PHONO	More than 80dB	
	MIC	More than 75dB	
FREQUENCY RESPONSE	LINE/AUX	20Hz−22kHz ±0.5dB	
	PHONO	±1dBexcept for controlled attenuation at −3dB	
	MIC	80Hz−18kHz ±0.5dB	
EQ	EQUALIZER	±10dB@60Hz,700Hz,4kHz,15kHz	
POWER CONSUMPTION	10 Watt typocal		
	17 Watt with full headphone output		
DEMENSIONS	480×220×80mm		
WEIGHT	5.5kgs		

Vestax Corporation